

さらに輝く奈良を、県民の皆様とともに。

～ワクワクするような「輝かしい奈良」が目前に広がろうとしています。～

I 16年間取り組んできた成果

地域医療が格段に良くなりました。

- 県総合医療センター、奈良総合医療センターが開院
- がん死亡率が大幅に改善（減少率全国1位）健康寿命が大きく伸びる（男性全国3位）
- 国民健康保険の県営化

経済が活性化し、県内雇用が充実し脱ベッドタウンが進みました。

- 工場立地先に奈良県が選ばれる時代に（全国9位）
- 県外就業率の低下（減少率全国1位）
- ホテルの整備が進み奈良での滞在時間が延びる

女性が活躍し、子育てしやすい奈良県になってきました。

- 女性の就業率の伸び全国1位
- 女性の管理職の割合全国2位、社長比率全国5位
- 子どもの自尊心と利他心をなくむ条例施行
- 合計特殊出生率が全国平均に追いつく

財政の状況が格段に良くなりました。

- 県税収入等が年間約480億円増加
- 県債残高総額がピーク時から約1,050億減少
- 県独自で返済する県債残高は約840億円減少
- 地域・経済活性化基金は約420億円増加

II 間近に見えてきているもの

- まほろば健康パークの新エリアは令和9年度開園。
- 中央卸売市場の再整備は令和10年度から順次開業。
- 中町「道の駅」は令和5年度末オープン。
- 平城宮跡の歴史体験学習館は令和8年度、同南側地区は令和7年度完成。

- 医大新キャンパスは令和7年度オープン 医大病院南側に近鉄新駅設置。
- 畝傍山周辺に陸上競技場、アリーナ、文化ゾーンを令和11年度整備。

教育・福祉を充実させ、健康寿命を日本一にします。

- 健康寿命が大きく伸びています。
男性：全国3位（平成23年比+1.1年）
女性：全国21位（平成23年比+1.0年）

障害福祉、高齢者の健康、働き方改革、デジタル社会の構築、三方良しの経済社会の実現、スポーツに親しむ、南部・東部地域の振興などのユニークな条例を制定し、県民の暮らしをさらに良くします。

III これから期待されるもの

リニア中央新幹線の「奈良市附近駅」位置の確定と、リニア駅直結高速道路の建設。

リニア建設にともなう発生土を利用した2,000m級滑走路のある大規模広域防災拠点の整備。

● 防災拠点としての効果を早期に発現するため、段階的に整備

大和平野中央に「デジタル田園都市」を建設し、県勢の飛躍的発展のきっかけをつくる。

- (仮称)奈良県立工科大学とスタートアップヴィレッジ
- まほろば健康パークと連携したウェルネスタウン
- スポーツ施設を核としたウェルネスタウン

令和19年のリニア中央新幹線全線開業が迫っています。リニア関連事業を軸に、様々なプロジェクトを進めています。

- ◆ 令和14年
・大規模広域防災拠点II期の完成

- ◆ 令和13年
・(仮称)奈良県立工科大学新キャンパスとスタートアップヴィレッジの供用開始
・新西和医療センター開院

- ◆ 令和12年
・大和平野中央におけるスポーツ施設の整備

- ◆ 令和7年
・市町村水道と県営水道の事業統合
・「飛鳥・藤原」の世界遺産登録

(あらい正吾プロフィール)
昭和20年1月18日生 大和郡山市出身 東京大学法学部卒
米国シラキュース大学マックスウェル行政大学院卒
運輸省観光部長、自動車交通局長 海上保安庁長官
参議院議員(1期) 外務大臣政務官 奈良県知事(4期目)



奈良県知事候補
あらい正吾
しょうご

奈良県初 民間出身リーダーを!

県政に対話と共感

教育無償化 子育て支援

戦後、選挙で選ばれた奈良県の知事は、5人。しかし、民間出身の知事は一人もいません。新型コロナウイルスによって、世の中全体が大きな打撃を受け、これまでの延長線上では解決できない問題が山積しています。そこに追い打ちをかけているのが、記録的な物価高です。先行きが見えず閉塞感を感じている人も多いのではないのでしょうか。時代が大きく変わった今こそ、新たなリーダーに奈良県の未来を託してみませんか。私は、弁護士として培った民間の発想、そして生駒市長としての経験を活かし、必ずこの奈良県を改革します。皆さまと一緒に、新しい奈良をつくっていきましょう!

山下まこと プロフィール

- 1968年6月生まれ 54歳
- 1992年 東京大学文学部 卒業 新聞記者になるも弁護士を目指し退職
- 1994年 京都大学法学部 編入学 警備員のアルバイトをしながら猛勉強
- 1998年 京都大学法学部 卒業
- 2000年 弁護士登録
- 2006年 生駒市長選挙初当選 37歳(当時全国最年少市長) 3期9年務め、行財政改革や子育て支援等に取り組む
- 2015年 奈良県知事選挙に立候補するも惜敗
- 家族 4人(共働きの子、高2の男女の双子)
- 趣味 マラソン(奈良マラソンに10回、フル4回出場)

教育無償化

経済的な理由で学びを諦めることがないよう、公立・私立問わず、高校授業料を無償化。所得制限なし。県外の私立高校に通う生徒も対象。

子育て支援

- ▶ 0～2歳児の保育料無償化、18歳までの医療費助成(全市町村)の実現に向け、県と市町村の協議の場を設ける。
- ▶ 不妊治療で県独自の支援制度を創設。
- ▶ 市町村と協力し、ベビースイッター等の利用に使えるクーポンの配布を検討。

物価高対策

国の地方交付金を財源として、県民や事業者を支援。学校給食費や省エネ家電への買い換えの支援、プレミアム商品券や地域で活用できるマイナポイントの発行等を検討。

経済・観光振興

- ▶ 関西広域連合に全面加入。
- ▶ 企業誘致を進め、若者や女性の新たな雇用を生み出す。

高齢者

- ▶ 特別養護老人ホーム待機者への有料老人ホームの入居費補助。
- ▶ 南部東部の山間地での買い物支援するためドローンや自動運転などの最新技術を活用。

徹底した行財政改革で財源を捻出

退職金を辞退し、県民のために使う。 現知事4期分: 1億4,800万円

これまでの大型ハコモノ事業検証 373億円
今後計画されている大型プロジェクト事業の再検討 4,620億円



日本維新の会公認
山下まこと

福祉の充実、教育の振興、中高年の雇甲、SDGs

プロフィール

● 香芝中学校卒業
● 奈良県立郡山高等学校卒業
● 関西大学英文学科卒業
● カリフォルニア州立大学留学
● 奈良女子大学大学院修了
● 高校教師

趣味
・読書 ・登山

県民の皆様の声を実行します!

変えよう奈良!!

People in Nara Heritage du monde わたしの提言

◆ 財政・行政構造改革

行政の無駄をなくし、税の使い道を透明化。奈良県独自の財源を確保し、地域連立3号線を設立。活性化を促進し、観光都市として地域再生を目指す。県民への負担軽減。

◆ 教育事業

デジタル・リテラシーの推進。学校・研修機関でのPCスマホ使用。国際化教育の推進。国際化に適合した内容と時流に沿った方法。教師のフォローと残業軽減。アウトソーシングの活用。いじめ、子供虐待対策としてのセーフティネットの強化。道徳教育の推進。他者を思いやる心と個性の尊重。

◆ 地域活性化

国際都市としての奈良を世界に発信。広報、デジタル媒体、紙媒体双方による情報提供。奈良ファーストにする地域づくり。自治体独自の政策の尊重。地産・地消制度の確立。歴史伝統のある奈良を文化拠点にする。バランスのとれた開発と進展の共存。リニアを奈良に、魅力あるホテル誘致。金銭のデジタル化尊重。

◆ 福祉の充実

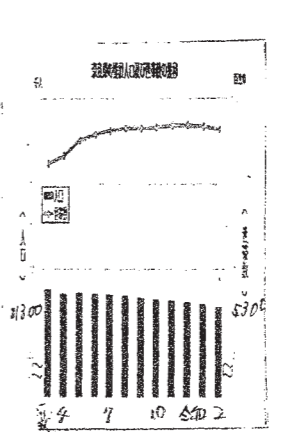
高齢者福祉と社会的弱者にやさしい政治。子供女性に寄り添った支援。

◆ 中高年雇甲

人生百年時代。定年引上げ。経験ある中高年の採用拡大。人手不足解消。

◆ SDGs

もったいない精神。再生可能エネルギーCO2削減。地球規模の取り組み。地球温暖化・森林破壊・プラスチックごみ問題。海面上昇に対応する政策。



西口
のぶこ
皆様の清き一票を
西口に下さい!

憲法生かして

ジェンダー平等の県政に転換

- 女性副知事を登用します。
- 「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を導入します。

安心して子育てができる奈良県に

- 子どもの医療費と学校給食費を無償にします。
- 県立高校の削減ではなく、どこに住んでも豊かに学べる高校教育の環境を整えます。
- 高校生の遠距離通学費補助制度を拡充します。

住民の命と安全を守ります

- メガソーラー建設に反対します。
- 市町村の水道自治を守ります。
- 県の防災予算を抜本的に拡充します。



《プロフィール》 1950年生まれ。生後2週間で生家はジェーン台風で倒壊。5人兄弟の長男。父の仕事で、小学校は6回転校。生活が苦しく、生活保護を申請し生活する。母のすすめで大阪府立茨木工業高校に進学。しかし生活保護を打ち切られ、退学して働く。●資格をとり、電気工事や家電修理業などを営む。●2007年大和郡山市議に当選。以後4期。

子ども応援 あったか県政へ
暮らし支援の

大型開発優先ストップ

- リニア関連の3大プロジェクトを中止し、その財源を県民の暮らし・医療・福祉・子育て・教育を全力で支援するために使います。

*「リニア関連3大プロジェクト」とは

- ・リニア奈良市付近駅の建設 1900億円
- ・リニア奈良市付近駅から関空をつなぐ鉄道新線づくり
- ・リニア工事発生土で五條市に2000m滑走路建設 700億円

物価高騰から県民の暮らし支援に全力

- 電気・ガス料金を含む公共料金の負担を軽減します。

保健・医療・介護・福祉を守る防波堤に

- 県の公衆衛生事業を拡充します。
- 国民健康保険料・介護保険料の負担を軽減します。

県民の平和第一、憲法生かす県政に

- 岸田政権の大軍拡に反対し、平和のための施策を推進します。

大型開発優先県政は
さようなら！



尾口 いくぞう

無所属

日本共産党推薦

少子高齢化対策
永遠に住める奈良を自慢の街に

高齢者の交通不便問題

①70歳以上バス無料化 及び交通不便解消

県立病院の医療施設更新と増設 及び在宅介護の充実化

②子育て支援の主な対策として

○保育園の増設及び低金額化 ○大学費用の金利無し貸付

③企業誘致

現状・・・企業が少なく賃金が安い為県民の殆どが、県外に働きに行っている
企業誘致する事で・・・奈良で働き奈良で子育て高齢になっても住み続けたい奈良に

④現状・・・良い観光地は沢山あるが交通不便で交通機関からのアクセスが悪い

交通不便問題解決・・・交通機関使った観光客が増える

以上 私の実現したい公約です。

羽多野貴至



はたのたかし
羽多野貴至

奈良には奈良の改革がある。「改革×投資」で、未来を咲かせる。

昨夏まで岐阜県副知事として3年。うち2年半はコロナ対策に奔走。

県民の皆様の不安に、苦しみに、向き合ってきました。

命を守る医療体制の構築。悩みつつ、県民の皆様と丁寧に話し、最善策を探してきました。

「県民の皆様を命と暮らしを守り抜く」、行政の使命を果たしたい。あらゆる世代の方々が、

安心して暮らせる地域にしたい。「住みたい」「学びたい」「働きたい」奈良県を創りたい。

平木省は、そのために、ふるさと奈良県に戻ってきました。

未来への投資

こども、教育、人づくり

- 経済的負担、心の不安、将来不安解消へ。県民一人おひとりに寄り添う県政へ。
- 「幼児教育・保育・高校教育」無償化、35人学級実現など具体的に。
- 生徒の希望に応じた多様な選択肢を提供する。高校教育の質の向上。
- 発達障がい、不登校、いじめなどにきめ細かく対応。思い切った経済的支援を。

安心への投資

命と暮らしを守り抜く

- 「安心して暮らせる老後を、いい環境で...」。当たり前前の願いに応える施策を。
- 「いつでも」「誰にでも」必要な医療サービスを。災害被害の不安をなくす。
- 多様な生き方、社会参加を応援し、「健康寿命日本一」「生きがい日本一」へ。
- 高齢者の買い物支援と商店街の活性化をセットで実行。在宅医療環境拡充。

成長への投資

インフラ整備、規制の緩和

- 京奈和道の全線開通、4車線化。学研高山第二工区、御所IC周辺整備ほか加速。
- リニア新駅の県内立地を成長起点に。商工業・観光振興。人のにぎわいを。
- 企業・生産活動活性化。中小零細企業支援。思いきった規制緩和を積極的に。
- 観光、農業、林業。奈良県の「宝物」の潜在力を最大化し、国内外に発信。

計画中の
大規模プロジェクトは、
立地市町村と丁寧に協議、
精査の上、推進。

構想段階の
プロジェクトは、
財政負担、事業効果を
検証し、関係者と再協議。

バスターミナル、
コンベンションセンターほか
既存施設のあり方を
再検討。

「3つの投資」で
奈良の「富」を拡大。
必要財源を確保。
「好循環」を生み出す。

信頼感、清新さ、突破力。

いつも人、暮らしの近くに...。地方での現場勤務10年4ヵ月

- 東大寺学園中学・高校卒 ●東京大学法学部卒
- 自治省(現・総務省)入省 ●アメリカ留学(ハーバードロースクール課程修了・ニューヨーク大学法学修士)
- 地方自治体勤務(浜松市財政部長・京都府政策企画部副部長ほか) ●総務大臣秘書官
- 岐阜県副知事(「県民目線」で先手先手)と評価された県独自のコロナ対策・リニア活用戦略推進担当)

奈良県香芝市出身
4人家族・2児の父

48歳

【趣味】 ●ランニング ●ロードバイク ●スポーツ観戦
●卓サッカー審判 ●家庭菜園 ●料理(筑前煮が得意)



平木省 前岐阜県副知事
元総務大臣官房企画官
しょうひらぎ